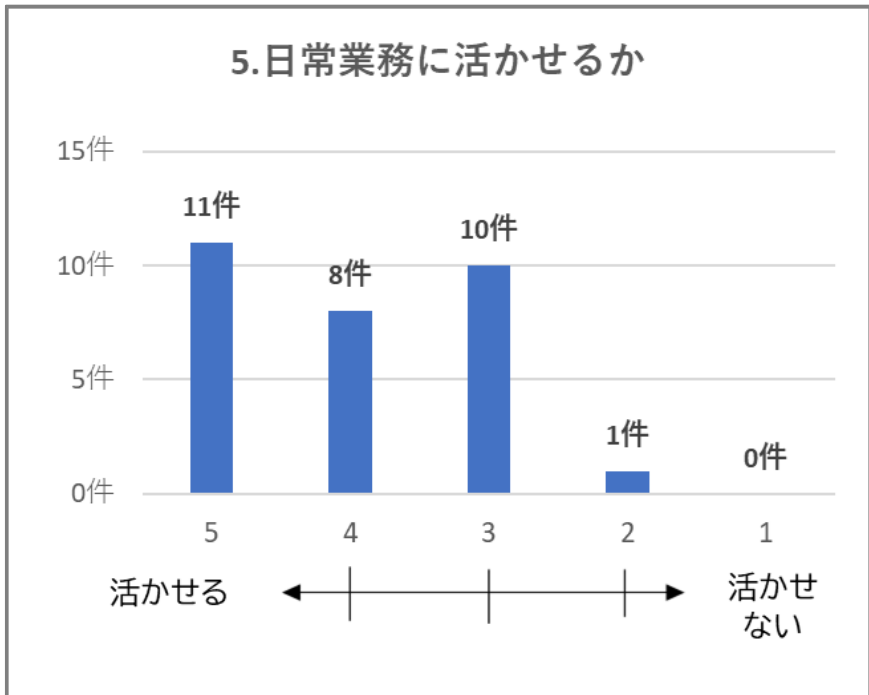
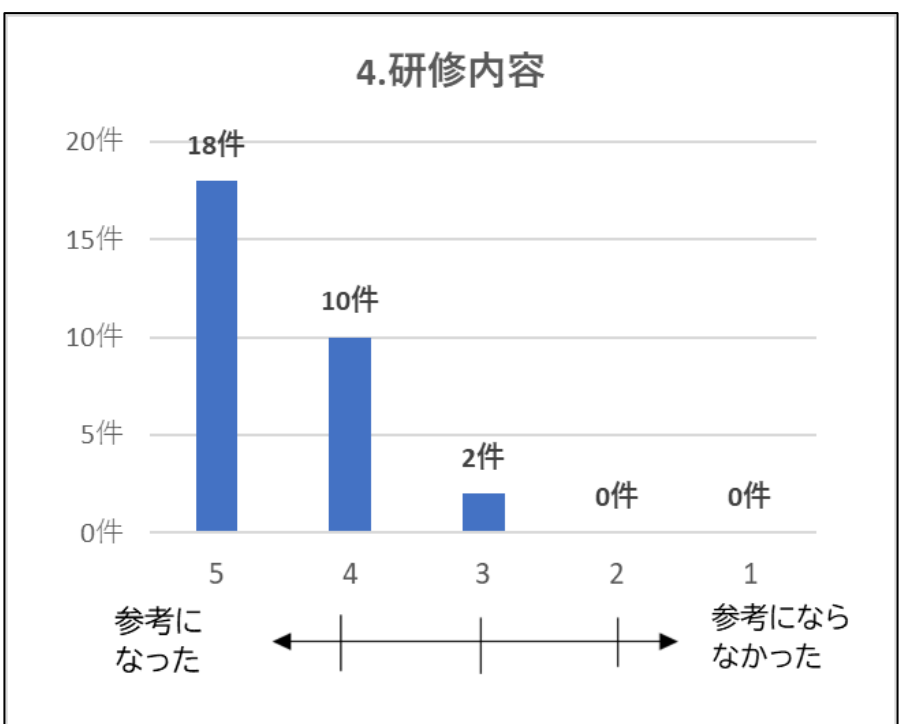
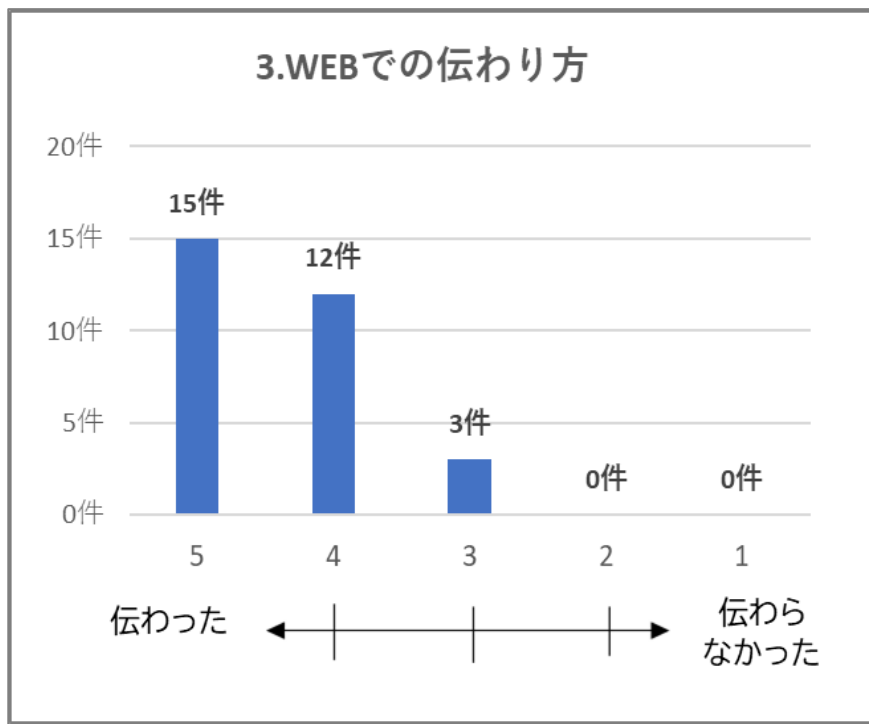
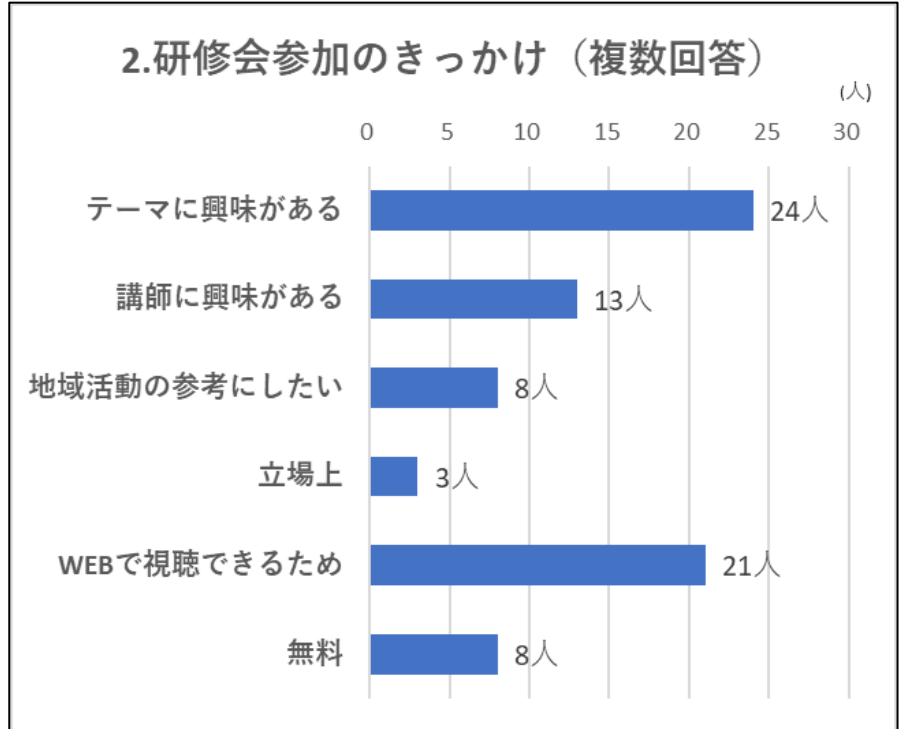
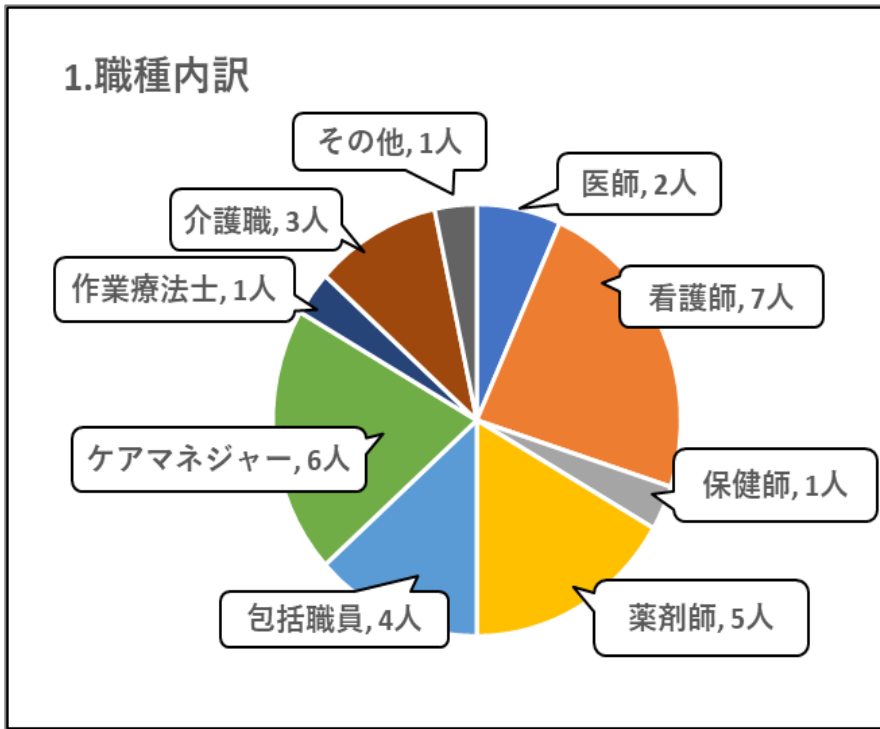


令和5年度 認知症スクリーニング研修

ライブ配信日: 令和5年12月16(火) (12月23日までオンデマンド配信)

1週間再生回数: 56回(視聴回線: 76件)

アンケート回答者: 30名



6.問5選択の理由

選択	理由
2	さらに理解を深める必要があるから
3	検査項目の意味をもう少し知りたかったと思いました。先生の開発された指標は臨床で活用してみたいと思いました。
	以前の研修内容を再確認しました。
	活用して認知症と分かることが在るが、日常業務はその先のケアなので3を選びました。
	不慣れな点もあり、インテーク時の言い回し等技術の習得が必要
	以前、もの忘れ外来でMMSEと長谷川式を使用した事があったが、今は職場が変わり使用する機会がない。
	手順を覚えられないため
4	物忘れが多くて困っている方で病院受診が必要と思ったときに、「頭の健康診断をしてもらいたいですよ」と受け入れてもらいやすい言い方がわかったのと検査の仕方とその理由がわかったから
	MMSE検査時の判断に役立ちました
	介護サービスを相談する上で参考にできる
	基本的な知識を身に付ける事で、認知症か疑わしい患者さまに受診を促すなど連携ができると考えたから
	詳しく説明があり自分も理解できたので実践できると思います。
	やり方やコツがわかったので患者へ認知症テスト勧めやすくなりました。
	何度か実施してみないと正しいスクリーニングが行えないと感じた。日常の利用者の方とのかかわりの中でスクリーニングを行っていきたいと思う。
5	質問のやり方に不安がありましたが、やり方が明確になり不安なく実施できるため。
	検査マニュアルを熟知しないまま実施してきました。自分の間違いがわかり、また他の方法でも出来ることがわかりました。(85から7を引いても正答と考えるなど)
	利用者さんへの助言や、状態の評価に役立てそう。
	治療薬について、家族からの問いが多いので、話題提供ができると感じた。
	訪問中の短い会話から、認知機能の変化について評価することができ、医師等とスムーズに連携できる。
	普段、日常的に行っている認知症の評価について再認識することが多くありました。
	具体的に分かりやすく御講演いたいたため
	認知症の状態を把握する上で参考になります。
	点数が高いからと言って問題がないというわけではないという認識を持って今後業務に関われる。
介護の現場で認知症の方と関わることが多いから	